

# 住民税が増税に！

この6月

日本共産党

## 小川民報

発行

日本共産党  
小川町委員会

編集責任者  
笠原武

生活と法律相談

本多重信

72-3527

柳田多恵子

73-2562

六月から、住民税の大幅な引き上げが行われようとしています。昨年に続く、二度目の引き上げです。増税についてお知らせする「広報」では、「税源移譲」、つまり、今まで所得税として納めていた分の一部を、住民税として納めるだけで、納める税金全体としては、変わりがないと書かれています。

**実際には、それどころか増税です。**

所得税と住民税の定率減税が廃止されます。その結果、夫婦と子ども二人・年収七百万円で、年間四万一千円もの増税になります。高齢者の場合、老年者非課税措置が廃止（経過）になりますから、昨年新たに課税になった方は二倍になります。

大企業が史上空前の規模の大も上げをあげる一方で、働く人達の収入は増えるどころか、減っているのが実情です。

日本共産党は自民・公明の安倍内閣に向かって、「住民税増税やめよ」という声を突きつけるために、緊急署名運動にとりくんでいます。ご協力をよろしくお願いいたします。

日本共産党のホームページで

あなたの負担増がわかります

<http://www.jcp.or.jp/tokusyu-06/10-hutanzo/index.html>

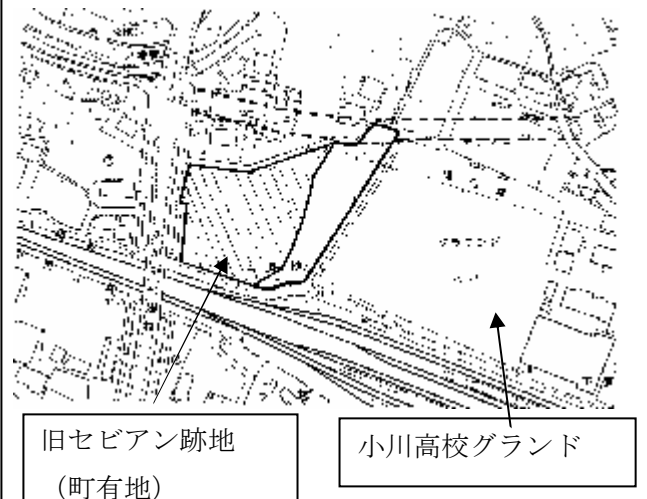
## 町としての説明責任は？

5月8日の議会全員協議会が行われ町長より町有財産の売り払いについて説明がありました。

### 【説明内容】

ホンダ小川工場進出に併せてホンダ社員用独身寮の建設が必要であることから同社の要請に応じて、用地の提供を行う。

- 1、所在地 小川町大字大塚字中耕地950-3
- 2、地目 宅地
- 3、面積 斜線の部分 6054㎡(全体面積9060.02㎡の一部)
- 4、契約の相手 本田技研工業(株)
- 5、随意契約
- 6、契約の時期 H19年6月(5月末仮契約、議会の議決後本契約)
- 7、建物 RC構造9階建て(一部8階建)、延べ面積14,500㎡、250室



旧セビアン跡地  
(町有地)

小川高校グラウンド

旧セビアン跡地は、駅北口開設用地のひとつとして、町がH7年からH9年にかけて3回にわたって購入しました。契約が成立すると、駅前広場のある北口開設は非常に困難であるといえます。

今年8月に着工されるひばりが丘の本田エンジン工場にともなうパイプラインなどインフラ整備について、関係する地域の各区長への説明会が開かれましたが、跡地売却についての説明はありませんでした。

拙速に仮契約を結ぶのではなく、住民のみなさんに状況を説明し、意見を聞くことが必要ではないでしょうか。

### せせらぎ

本当にこんな政治家だと知っていて国民は投票したのかと不思議に思う今日この頃です▼「女は子どもを生む機械」と

言った人や、「還元水で年間五百万円使った」と平気でいう人や「一億円の金の受け渡しがあったかどうか覚えていない」ような人が、のうのうと国会議員でいるだけでなく閣僚の中にいるのです▼改憲手続き法案の採決強行だってひどいものです。「有権者の一割二割の賛成でも改憲してしまっているのか」「なぜ公務員や教員の活動の自由を奪うのか」の質問にも答弁不能。それでも数の暴力で強行です▼これに対してマスコミは「意義あり」の声を挙げない。ただ淡々と報道するだけ。いや全国津々浦々で起こっている憲法改悪反対の声、九条の会の運動などまったくと言っていいほど報道しません▼まさに戦争前夜のあの昭和初期を思わせます▼あの頃、共産党は非合法化され、新聞「赤旗」も発行されていませんでした。今は違います。共産党が元気に活動しています。どんなことがあっても戦争への道だけは歩んではいけません。

(官ノ倉三太郎)

# 愛と自由、平和町民コンサート大盛況

## 投稿

五月十二日、おがわ町九条の会主催、第二回「愛と自由そして平和・町民コンサート」がパトリアおがわで、会場があふれる程の観客で盛況の内に開かれました

小川町在住の音楽家五組の方々と同じく新劇女優の方の朗読がプログラムでした。

出演者、スタッフの皆さんの思いが観客席まで伝わってくる、手づくりコンサートならではの温かい雰囲気や曲が多かったのですが、一流の皆さんの演奏には心から感動し、ひと時酔いしました。

中でも庄巻だったのは、朗読でした。神戸女学院大学の生徒たちが、韓国を訪ね「従軍慰安婦」だったハルモニたちから聞き取った、「手折られたままの人生」です。音と映像と朗読の見事なコラボレーションの中で「私の平和は訪れない」「二度と戦争のない、平和なアジアを作るために力を貸してください」という言葉は、聞く者の胸を打ちました。

次回のコンサートが今から楽しみです。



# まじめに働く人が報われる社会を！

第78回比企西部地区メーデー開催



比企西部地区メーデーに出席の野原、川口、浅見、本多、上野の各議員

第七八回比企西部地区メーデーが、五月一日午後六時から小川町民会館で、区内の労働組合で構成する実行委員会の主催により開催されました。当日は天候不順の予報だったため室内での開催となりましたが、室外にも大勢の参加者があふれる盛大な祭典となりました。そして、「まじめに働く人が報われ、不平等な格差の是正をすすめ、貧困の固定化や二極化、希望格差のない社会の確立を求める決議」などを、全員の力強い拍手で確認、採択しました。

本メーデーには、日本共産党の本多重信（小川町）、川口浩史（嵐山町）、上野憲子（滑川町）、野原和夫（ときがわ町）、浅見初恵（東秩父村）各議員も出席し、参加者と交流、激励しました。

なお、柳田多恵子議員は比企地域メーデーに参加しました。

# ＝シュプレヒコールを大きく響かせ＝

第78回比企地域メーデー開催



心配されていた雨も上がり、ハッピートレインの元気なバンドと歌声に迎えられ、第七八回比企地域メーデーは、さわやかな五月の風の中で、夕方六時より東松山市役所の駐車場を会場に開催されました。

闘うメーデーの輝かしい伝統を引き継いでいる「比企地域メーデー」には十五労組・団体二八〇名が参加。

実行委員長の島田比企労連議長は、挨拶の中で、平和憲法改悪、戦争への道まっしぐらの安倍自民・公明内閣を厳しく糾弾しました。来賓の一人として、四月の選挙で初当選した、日本共産党東松山市議の蓮見たかし氏が、選挙戦での経験を踏まえ住民の側に立って進める市政をつくっていききたいと新議員としての抱負を述べ、連帯と激励のあいさつをしました。

集会終了後、実行委員、来賓などを先頭に元気よく市内をデモ行進。シュプレヒコールが夜空に大きく響いていました。

### 訂正

前号（四月発行四一三号）の「せせらぎ」欄の中で七行目の「既判力」十八行目の「軌範力」は「規範力」の変換間違いでした。謹んで訂正、お詫びいたします。